

地区委員会代表者研修会



「地区委員会代表者研修会」は、幅広い人権分野の各課題についての認識を深めるとともに、各地域の啓発課題について他地域との交流を深める目的で、毎年研修活動として行われています。

今年も、日頃より、地域における人権啓発の推進役として、各地区委員会で積極的に活動されておられる代表・副代表・企画委員34名の参加を得て、9月28日(土)女性センターにおいて開催しました。

今回は、演題「自分の中にある固定観念を見つけ出す」～気付き…あなたはステレオタイプ?～と題して(社)部落解放・人権研究所啓発企画室長の加藤敏明さんに講演をいただきました。講演は参加型学習で、参加者との対話を重視され、ソフトな語り口調で、私たちの気付かなかった固定観念を引き出しながら、日常生活における人権問題について「気付き」「考え」「行動」することが大切であるとお話でした。

今後も皆さんのご意見を参考に、いろいろな研修の機会や交流会を設けたいと思います。



憲法と市民のつどい

5月25日(土)メイシアター中ホールにおいて「憲法と市民のつどい」を開催しました。講演「夢への前進」～自分の可能性を求めて～と題して成田真由美さんに講演いただく予定でしたが、講師の体調不良のため急遽講演にかえて映画「ホタル」を上映しました。皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。

映画の内容は、戦争の悲惨さ、命の尊さ、人を愛することの素晴らしさ、夫婦愛などについてあらためて考えさせられるものでした。

また、オープニングでは、にこにこコーラスの皆さんの歌声もさわやかに響きました。



催し・研修会ご案内

◆リバティおおさか(大阪人権博物館 TEL6561-5891)

企画展 「働く女性の権利と差別」
期 間 11月19日(火)～12月15日(日)

◆ピースおおさか(大阪国際平和センター TEL6947-7208)

特別展 「世界のグラフィックデザイナーによる反核FAXポスター展」
期 間 9月24日(火)～12月22日(日)

「2002人権フェスティバル」

日 時 12月1日(日)午後1時30分
場 所 吹田市文化会館(メイシアター)中ホール
内 容 ・セレモニー：市長・議長挨拶/来賓紹介
・人権のための絵本コンテスト表彰式
・コンサート「中国琵琶と二胡の演奏」
・演奏 素素(トン スウスウ)さん
・張 連生(チョウ レンセイ)さん
・講 演 「在日魂」
講 師 金村 義明さん(プロ野球解説者)

主催 吹田市・吹田市教育委員会
吹田市人権啓発推進協議会

発行/吹田市人権啓発推進協議会
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
☎(06)6384-1231(代)内線2595～8
FAX(06)6368-7345(直通)

(再生紙を使用しています)

吹田市 人権協だより

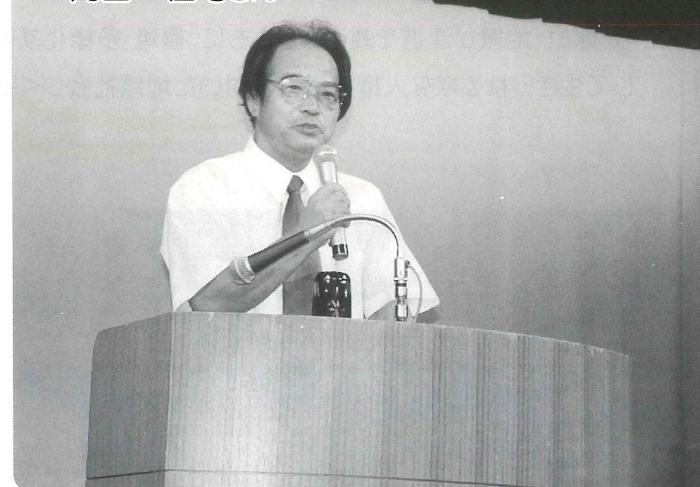


じんけんネット吹田

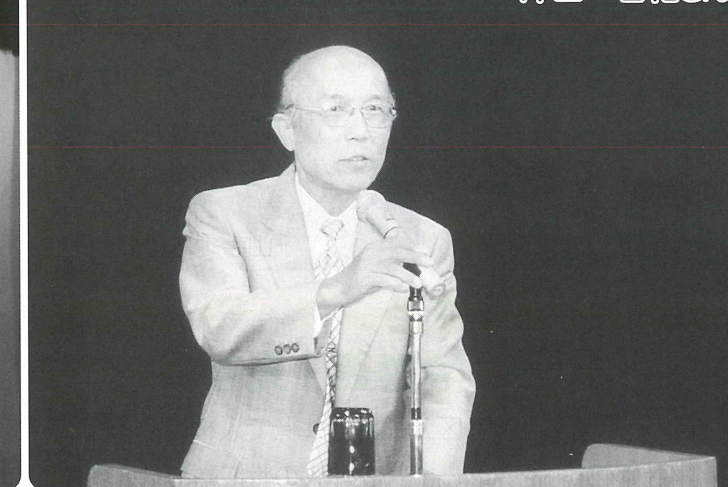
No. 13

平成14年(2002年)11月

9月3日「人生・出会い」
～茶の間・街角で学ぶ人権～
向出 佳司さん



9月11日「共に生きる」
～みんな同じ空の下に生きる～
澤田 啓祐さん



9月18日「イランのお話とサントゥール演奏」
～ペルシャ5000年の歴史～
プーリー・アナビアンさん ダリア・アナビアンさん



2002年市民ひゅーまんセミナー

会場:メイシアター 小ホール

9月3日から4回にわたって行いました「2002年市民ひゅーまんセミナー」は、連日100名以上の参加者のもと、さまざまな人権上の課題について、専門の立場から、あるいは体験をととしての講演をいただき、充実したセミナーとなりました。その中から9月18日に行われた「イランのお話とサントゥール演奏」～ペルシャ5000年の歴史～を紹介します。

セミナーは、サントゥール奏者のプーリー・アナビアンさんの演奏で幕を開けました。サントゥールの幻想的で崇高な音色に参加者の心は癒され、神秘的な空間を感じるほど心地よい演奏でした。演奏に続きテレビ・ラジオ番組レポーターのダリア・アナビアンさんにイランの歴史や文化について、スライドを使いながら、日本語でわかりやすく講演をいただきました。参加者からは、「サントゥールの演奏と音色に感動した」「イランが身近な国に感じることができた」「イランの文化、暮らしがよく理解できた」などの感想が数多く寄せられました。



(山手地区委員会)

人権のふるさと 「水平社博物館」見学会

7月12日(金)山手地区公民館と共催で人権のふるさと「水平社博物館」を見学しました。「人の世に熱あれ人間に光あれ」と高らかに人間の尊厳と平等をうたいあげて全国水平社は設立されました。80年を経た今、創立者である西光万吉、阪本清一郎をはじめ諸先輩は歴史上の人物となりましたが、水平社宣言は解放運動の魂として生き続けています。平和と人権の確立を目指す部落解放運動の原点が全国水平社です。

博物館内には柏原の地から生まれた水平社の歴史と差別のない未来を目指して闘った先人たちの残した足跡が保存され、多くのコーナーから学び知ることが出来ました。

あらゆる差別をなくして、共に生きる豊かな人間社会を構築しなければならないと思いました。

(山手地区委員会 板野 勝彦)



(西山田地区委員会)

「トランペットとピアノによる ジャズコンサート」

トランペットとピアノだけのジャズコンサート。ソロのトランペットの哀愁をおびた音色や、さすがと思わせるピアノ演奏は聴き応えがありました。講師としてお招きした嶋本氏のアメリカ滞在(12年間)の経験から、肌で感じた黒人の立場やジャズ発祥の経緯などトークを交えたコンサートでした。現在、アメリカでは黒人はアフロアメリカンと呼ばれ、とても自分たちの祖国に誇りを持っているということでした。軽快な曲がお葬式に演奏されていたという意外な話や、南北戦争後、解放された黒人が職を求めて北部へ行った時にアメリカ全土にジャズが広がったとの話を聞きながら、ジャズによって生きることの苦しみを少しでも和らげようとした黒人の境遇に思いを馳せました。嶋本氏の巧みなトークと演奏で有意義な2時間でした。

(西山田地区委員会 佐々木 啓子)

「CAP講演会」

山一地区委員会では、人権に関する今日的な諸課題を計画的にとり上げ活動しています。

6月27日・28日にCAP(子どもへの暴力防止プログラム)を山一小PTAと共催で実施しました。4年目を迎える今年度は、子ども向け(5年生)、教職員向け、大人向けのワークショップを行い、多数の方が参加されました。

連日、信じられない様な事件のニュースも多く聞かれ、子どもに関する不幸な事件も少なくありません。子育てについて、学校・家庭・地域が連携を強めるとともに、複雑・多様化する社会の変化の中で、人と人との関わり方を見つめ直し、誰もが安心して生きられる様な人権意識の根付いた地域社会づくりが求められています。

(山一地区委員会 古城 ツミ子)



(山一地区委員会)

出会
い
発
見
感
動

人権啓発研修会「企業と人権」

「ワールドカップサッカー日韓共催」開催中の6月17日(月)に、企業人として不可欠な人権感覚の研鑽を目的に、大阪同和問題企業連絡会理事長の田中昭紘さんをお願いし「企業と人権」と題して企業の社会的責任についてご講演をいただきました。

勤務先の差別事象との関わりを通して経験・体験から「人間関係こそ人権」、「悲しい叫び声に応える行為の積み重ねが差別の解消に通じる」など、示唆に富んだ具体的事例を交えたお話をいただき、私たちは多くの事を学びました。

しかし、企業の人権感覚の欠如による不祥事は耐えません。企業の社会的責任が強く求められています。私たち企業は、更に社会的責任として、人権問題の正しい理解と認識向上に努めてまいります。

(協力企業部会 安藤 正彦)



(吹田南地区委員会)

「立命館大学国際平和ミュージアム」 見学(戦争と平和)

南吹田地区公民館と共催で、館外研修会として14年6月16日(日)に立命館大学国際平和ミュージアムを見学しました。

館内は三つのテーマに区分され、テーマ1「戦争の実態」では、軍隊と兵士、占領地、空襲、沖縄戦、原爆の恐ろしさ。テーマ2「第二次世界大戦」では、独裁体制主義でのナチスの強制収容所、戦争責任と平和への努力。テーマ3「現代における戦争と平和」では、ベトナム戦争に代表される現代の戦争の惨禍、核軍備競争のエスカレーション(世界の核配備状況を示す地図)などを見学しました。

展示を見学する中で、事実は事実として受け止め、あらゆる方法で戦争を無くし、全世界の平和を守ることの重大さを改めて思い起こす館外研修会でした。

(吹田南地区委員会 前田 博)



(協力企業部会)